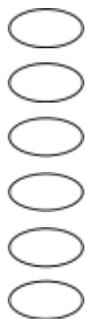


SVBONY

User Manual
ユーザー取扱説明書



SV605

前書き

SVBONY顕微鏡をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

SV605顕微鏡を使用する前に、このマニュアルをお読みください。

セットアップ

1、発泡スチロール容器をカートンから取り出します。

2、顕微鏡やその他の部品を容器から慎重に取り出し、テーブル、机、またはその他の平らな面に置きます。

3、ビニール袋から接眼レンズを取り出します。

4、10x接眼レンズを接眼レンズチューブに挿入します。

これで、顕微鏡を使用して標本を観察する準備が整いました。

注意

顕微鏡は安定したテーブル、机、その他の平らな面に置いてください。机の端から遠く離れてください。

●お手入れ・メンテナンス

1、SV605顕微鏡を火や高温の場所に近づけないでください

2、顕微鏡の使用が終了したら、ステージに残っている標本をすべて取り除きます。

3、顕微鏡の使用が終了したら、上部と下部のイルミネーターをオフにします。

4、顕微鏡を長期間（30日以上）使用しない場合は、電池を取り外してください。

5、使用しないときや保管するときは、必ず接眼レンズの上にダストキャップをかぶせてください。

6、顕微鏡を清潔で乾燥した場所に保管します。

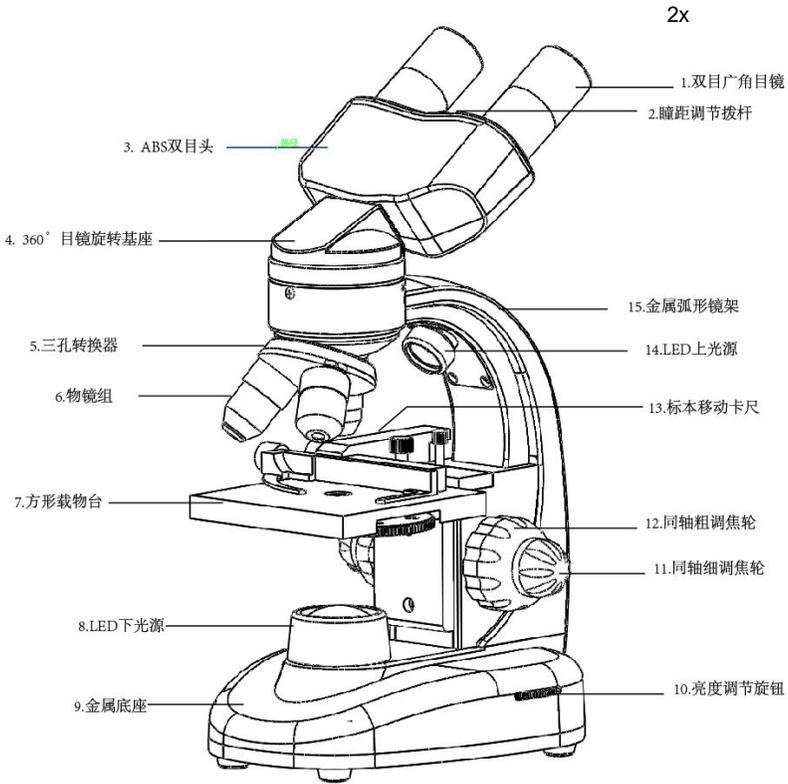
7、湿らせた布で外面を拭きます。

8、光学面を傷つけやすいので、布やペーパータオルで光学面を拭かないでください。

9、光学面から指紋を取り除くには、ほとんどの写真撮影口で入手できるレンズ洗浄剤とレンズティッシュを使用します。

10、内部の光学面を分解したり清掃したりしないでください。これは、工場またはその他の認定修理施設の資格のある技術者のみが行う必要があります。

外觀



1. Binocular wide-angle eyepiece
2. Interpupillary distance adjustment lever
3. ABS binocular head
4. 360° eyepiece rotating base
5. Three-hole converter
6. Objective lens group
7. Square stage
8. LED light source
9. Metal base
10. Brightness adjustment knob
11. Coaxial fine focusing wheel
12. Coaxial coarse focusing wheel
13. Specimen moving calipers
14. LED light source
15. Metal curved frame

- 1、双眼広角接眼レンズ
- 2、瞳孔間距離調整レバー
- 3、ABS双眼ヘッド
- 4、360接眼レンズ回転ベース
- 5、3穴コンバーター
- 6、対物レンズグループ
- 7、スクエアステージ
- 8、LED光源
- 9、金属ベース
- 10、明るさ調整つまみ
- 11、同軸ファインフォーカシングホイール
- 12、同軸粗焦点ホイール
- 13、標本移動キャリパー
- 14、LED光源
- 15、金属製の湾曲したフレーム

アクセサリのリストとビュー



Slide: スライド

Dust cover: ダストカバー

Sample bottle: サンプルボトル

Tweezer: ピンセット

Cutter: カッター

Slides box /Cover glass: スライドボックス/カバーガラス

Stirring rod: かき混ぜ棒

Dropper: スポイト

Petri dish: ペトリ皿

Neddele: ネドル

仕様

モデル	SV605
光学システム	生物学顕微鏡
観察ヘッド	双眼ヘッド、45度傾斜、360度回転
倍率	40X-800X
接眼レンズ	WF10X two WF20X two
対物レンズ	4X 10X 40XS
操作ステージ	90mmX90mm 平方
	ムービングスケール
	ディスクフィルター
調整	コースフォーカサー&ファインフォーカサー (デュアルノブ) フォーカス範囲15mm
イルミネーター— 上部	LED ライト
イルミネーター — 下部	LED ライト, 2AA バッテリー (別売り)
アクセサリ	フルセット (アクセサリ—チャート)
電源	4*AA バッテリーとDC5V-1000MA 入力
バックギング	ボックス
サイズ	18.5x14x29cm
重さ	1.75kg

セットアップと操作

1、顕微鏡を取り出し、WF10X接眼レンズを接眼レンズに入れます



2、背面に電源コードを挿入するか、下部にバッテリーを置いて光源をオンにします。
視野が完全に照らされるように接眼レンズで観察します。光源調整つまみで調整できます。



3、試料スライスを作業台に置き、可動定規でクランプして位置を調整し、観察対象物が光通過穴の中心にくるようにします。



4、対物レンズを最も低い位置まで下げてから、粗調整でゆっくりと上に動かして比較的鮮明な画像を取得し、微調整を使用してより鮮明な画質を取得します。



5、動物レンズコンバーターを回して、さまざまな倍率の対物レンズを調整し、低倍率から高倍率まで順番に観察を完了します。



5、観察対象物の透明度は視野照明との関係が大きく、上下の光源を調整する必要があります。ステージ下のカラーフィルターを回転および調整して、視野ケーブルと色を変更します。



ハンドスライス生産

動物および植物の表皮標本のスライスの準備

▶ 動物の場合、例として昆虫の翅を取り上げます。ピンセットを使用して、昆虫の翅の小片を引き裂き

ます。スライドガラスの真ん中に置くと、顕微鏡できれいに配置された目盛りが見えます。スライドガラス上で直接スケールを拭くと、1つのスケールの形状を観察できます。（透明な羽を直接観察できます）

スライドガラスの中央に濃厚な塩水を塗布し、乾燥後、顕微鏡で規則的な結晶を観察できます。

▶ 植物の場合、例としてトマトの果肉を取り上げます。スライドガラスの中央に果肉を塗り、水を滴下します。次に、カバーガラスを覆い、吸収紙で余分な水分を吸収し、顕微鏡で直接観察します。

▶ タマネギの表皮、根毛、小麦の芒などの一部の植物標本も、上記の方法で観察するための一時的な標本にすることができます。ただし、植物の茎の水平/垂直スライスなどの一部の標本は、浸漬によって剥がす必要があり、その後、上記の方法が使用されます。スライドに近づけて観察します。

注意！植物の標本を切るときは、鋭い刃が入ったスライサーが必要です。注意してください！

子供がスライスを作るとき、それらは大人の指導の下で行われるべきです！

▶ きれいな水の代わりに接着剤を使用する場合は、上記の方法で作成し、カバーの破片を覆い、乾燥後にラベルを貼ります。そして、観察しやすく保存しやすい標本切片を作成します。

▶ スライドとカバーの断片は再利用できます。観測が完了しました。スライドをきれいに洗い、乾かして保管します。

SVBONYお客様相談窓口

平日9:15~12:00/13:00~17:30(土・日・祝日・年末年始・GW・夏期休業等を除く)

製造元

HONG KONG SVBONY TECHNOLOGY CO.,LIMITED

Add: Unit B,5th Floor,Gallo Commercial Building,114-118 Lockhart Road,Wanchai,HongKong

<http://www.svbony.jp>

Email: info@svbony.jp

Facebook: [SvbonyJapan](#)

Twitter: [SVBONYJapan](#)

Instagram: [svbonyjapan](#)

YouTube: [SVBONY japan](#)